

# 2022 年秋学期語学留学/ウーロンゴン大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

### 授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

授業は曜日ごとに先生が違い、ディスカッションやライティングが多かったです。進め方は日本での英語の授業と似ていました。

15人ぐらいのグループで、授業自体は文法やスピーキングを行います。授業内でグループワークも行き、プレゼンをすることもありました。

先生にもよりますが基本的には会話の授業が多くなると英語でゲームをしました

プレゼンテーションやイディオムなど、日常生活で役立つ知識やスキルを中心に学びました。積極的に発表、質問が出来る環境でしたので充実していました。また、遠足などの自然と触れ合いながら英語を学ぶことができました。

8:30-12:30 月から金

文法の授業は少なく、リスニングやスピーキングが主でした。他のクラスとディスカッションしたり現地の大学生にインタビューをしたりしました。

話し合いなどが多く、ただ話を聞く授業は少なかったです。プレゼンや劇をするなど人前に立って何かを披露する授業が多かったです。授業の進め方は早くもなく遅くもなかったです。学生が理解していなさそうだったら簡単な英語に言い直してくれていたのが授業についていけないということはなかったです。

### クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

最初のクラスは8人ほどのクラスで、日本人3人、中国人2人、サウジアラビア人3人でした。しかしクラス替えがあり、全員日本人の20人のクラスになりました。

クラスの人数は18人で、全員日本人でした。他のクラスにはサウジアラビアや中国人の留学生がいました。

クラス人数は12人くらい。全員日本人。

私のクラスは全員日本人でしたが、他のクラスには多くの外国人留学生がいて、たくさんコミュニケーションが取ることができました。中国人のルームメイトもいて積極的に英語を使ってコミュニケーションが取れました。

私のクラスは13人くらいでした。全員日本人でした。ほかのクラスには何人か外国人がいて、サウジアラビア、中国人、モンゴル人、がいました。

### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

最初のクラスの雰囲気は外国人が多いこともあり、和気藹々としたスピーキングの練習が多かったです。とても楽しかったです。クラスが変わると、ディスカッションの時は盛り上がりましたが、普段は日本での英語の授業と特に変わりません。

日本の授業よりも発言する機会が多く、ゲームなどで楽しく英語を学べる雰囲気でした。

一度だけクラス替えがありましたがクラスが替わる前は大体英語のレベルが同じ人たちでしたがクラスが変わった後は真面目に授業を受ける人とそうでない人がきれいにわかれていました

アクティビティなど体を動かしたり、短い劇をしたので発表することに抵抗がなく積極的に英語を話せる雰囲気でした。

自由でのびのび 自己責任

先生がとても気さくとても発言しやすかったです。

みんな積極的に話していて、和気あいあいとした雰囲気でした。みんな基本的にやさしいので、日本人が話していないと思ったら話を振ってくれたり

していました。とにかく人前で何かをすることが多くて、授業内で即興で英語で劇をするなど、日本ではあまり行わないことばかりでした。

### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

自分でそれぞれに役割を決め、電車に乗って話をするという設定のロールプレイの授業が印象に残っています。

大学のなかに新しいカフェを作るために、自分達でビジネスプランを考えて、それをプレゼンするのが一番印象に残っています。

アボリジニの歴史やウーロンゴンの自然に関する歴史、言い伝えを学ぶことができたことです。

アボリジニ、オーストラリアスラング

留学先の文化や生物、スラングなど

私が1番印象に残っているものはアボリジニの歴史についてです。とても興味深くもっと学びたいと思いました。

平均寿命や犯罪率、飢餓率などを日本とほかの国を比較して世界の問題について考える授業で、日本がいかに恵まれている国が考えさせられる授業でした。

### 授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

私の場合はリスニングとスピーキングが得意ではないので、とりあえず話そうと努力しました。

わからないことがあったらすぐに聞くようにしていたことです。

先生が話す言葉の中で、知らない言葉があったときは調べてメモしたり、常に知らない言葉が出てきたときは、メモして、復習していた。

積極的に発表したことです。

全員日本人クラスだったけど日本語でも通じるということに甘えず英語を使うことを意識しました。

ポキャブラリーを増やすようにメモ

聞き取れなかった単語、意味のわからない単語などは友達や先生に聞いてその日に理解するようにしていました。

積極的に話すことはいつも意識していました。私のクラスは全員日本人でしたが基本的に日本語は話さなかったので、英語でいかに簡単にわかりやすく伝えるか工夫していました。

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。	通学手段	通学時間
0人		電車	45-60分
0人		徒歩	60-75分
0人		バス	30-45分
0人		電車	15-30分
1人	中国人	自転車	15-30分
1人	ベトナム人の女の子	バス	60-75分
1人	韓国	バス	15-30分
0人		バス	0-15分
0人		バス	15-30分

### 部屋に用意してあったものは何ですか。

勉強机とベッドとクローゼットが用意されていました。

ベッドや服を入れるダンスや勉強机が用意してありました。

### 自分で用意したものは何ですか。

衣服と洗面所の用具。

ティッシュペーパーや爪切りなど日用品は自分で用意しました。

ドライヤー、ティッシュ、布団、鏡、ハンガー、	シャンプーボディーソープ、化粧水など
ベッド、タンス、テーブル	日用品
ベッド、机、お菓子、変換プラグなど心地よく生活する環境が整っていました。	歯ブラシ、服などの身の回りの物
ベッド	
ライト、コンセント、ベッド、収納場所	左記以外の日用品全般
ベッド、勉強机、椅子、クローゼット	スリッパ、ハンガー、タオル、洗剤
タオル、洗濯竿、ドライヤー、洗濯洗剤	スリッパ、美容類

### ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

食事マナーが本当にゆるくて驚きました。小さい子供は平気で食事中に立ち歩いたりするうえに、誰もそれを注意しません。また虫が出て、誰も何もびっくりしませんでした。

水不足なので、シャワーだけだったり、洗濯が週に一回だけだったりしたことが驚きでした。

シャワー

洗ったお皿はすすがずに洗剤がついたまま自然乾燥すること

お風呂に入らず、週 2.3 回のシャワーだけで過ごしていたことです。また洗濯も週 1 ペースでした。

土足、朝ご飯昼ご飯みんで食べない、テレビをほとんどつけない、洗濯を毎日行わない

ドアの開け閉めの文化、挨拶、

朝ごはんがみんな別々に食べることです。他は特に変わった点はなかったです。

寝るのが早い、起きるのが早い

### ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

環境も文化も違うので、生活スタイルやルールは多少なりとも違うと思います。その違いを否定的に捉えるのではなく面白いと捉えることができれば快適に過ごせると思います。

自分の要求は言葉にして伝えるようにすることが大事だと思います。

あくまで、自分が家族の一員として受け入れてもらっているという心で生活すること。その気持ちを持ってした行動はファミリーにも伝わるし、そのように生活することで良好な関係が築けると思う。

気を使いすぎないこと

ホストファミリーと積極的にコミュニケーションをとって自分から行動すること。

日本人と付き合う時と違って、何かホストファミリーやルームメイトに気に入らないことがあっても、向こうは大抵何も考えていない時の方が多いので、改善してほしい点がある時は我慢しても改善されないのだからちゃんと伝えましょう。

干渉すぎない、文化が違うから順応しようと思うのではなく理解するだけでいい

ホストファミリーとは積極的に会話をするのが良いと思います。

ホストファミリーと沢山話すこと。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ

はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本の携帯をそのまま持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	はい
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
自由時間(主に放課後)は外国の人と喋りに行ったりジムに行ったり買い物に行ったりして過ごしていました。	学内にはいろいろな国のレストランがあったので、食事を楽しんでいました。また降り、バスで行ける範囲にショッピングモールがあったので、そこで友達と過ごしました。
お昼に開かれていたサッカーに参加していました。	大学の中にあるジムに通ったり、大学からの無料バスで行けるビーチやウーロンゴンセントラルによく行っていました。
大学内のクラブに参加	ジム、ウーロンゴンセントラル(商業施設)
ジムやサッカーのサークルに参加しました。	ウーロンゴンセントラル、学内カフェ、ジム
	大学のジム、ビーチ

### 3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
先に留学に行った友達からリスニングの練習をしておけばいいよと言われたので、1週間前からリスニングの勉強をしていました。
英単語を勉強していたことと、使いやすい文法を勉強していました。
英文法の復習、ある程度予算の計算
リスニングの練習をしました。
洋画をたくさん見て英語に慣れる。

留学前にしておけばよかったと思う準備
留学前にもっとリスニングの勉強しておけばよかったなと思いました。初日は本当に何も聞き取れず、数日経って Google 翻訳を使いましたが、こんなにも簡単な文を聞き取れなかったのかと悔しくなりました。
オーストラリアについてのことをもう少し調べていけばよかったと思います。
日常で使えるフレーズを勉強しておくこと。
語彙を増やす
私は行く1週間前にリスニングの練習をしたのですがもっと早くから勉強していれば良かったと思いました。
オーストラリア英語をもっと勉強しておけばよかった。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

親が留学中にサトウのご飯を送ってくれました、それがとてもおいしかったです。

爪切りや綿棒は持って行ってとても役に立ちました。また日本のお菓子は持って行ってとても喜ばれました。

少し寒かったのでカイロなど。また、日本のおもちゃ、駒やけん玉など

変換プラグ、抹茶味のキットカット(抹茶味は日本限定)

目薬

日本のお菓子は喜ばれました。

味噌汁

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
シャンプーやコンディショナー、洗濯用洗剤などはスーパーで半額で買えるので持って行く必要がないと思います。	特にないです。
シャンプー、化粧水など。意外と売っているので、2日分くらいあればあとは買える。	
必要以上の衣服(下着は洗濯が間に合わなくて使い回したりしたので多めに、トップスは本当にいらなそうです)	インスタント系の食べ物
洗剤	
洗濯洗剤、ドライヤー	冬服

#### 4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカードと現金	クレジットカード 30 万円と現金 4 万円用意しました。
プリペイドカードとクレジットカード、現金を用意しました。	クレジットカードは上限五万円で準備して、現金も五万円、プリペイドカードは十五万円用意していきました。
デビットカード、現金	現金 5 万
クレジットカードと現金(5 万円分)	20 万から 30 万
クレジットカードと現金	現金 10 万円
オーストラリアではほぼカードを使っていて、現金で払うことはあまりなかったです。	現金 10 万円、クレジットカード上限 30 万円
現金、クレジットカード	25 万

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

食費約 10 万円

住居費はわかりませんが、食費はおそらく五万円ぐらいだと思います。

住居費はゼロ、食費は 5 万は払いました。

住居費はゼロで、食費は物価が日本と比べて高いので結構高かったです。

10 万

### テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代は分かりませんが、通学は徒歩だったので0円でした。

テキスト代はありませんでした。通学費は毎日往復700円ほどかかりました。

通学費約3万円

電車通学を最初ホストマザーに勧められましたが交通費が凄くかかることが分かって、自分で別の通学方法を見つけたので(徒歩+待ちのフリーパス)、交通費は途中からゼロです。テキスト代もゼロです。

私のホームステイ先から学校までは歩いていける距離だったので途中から歩いて学校に行っていましたか、バスを使うと片道320円くらいでした。

交通費4万、テキスト費なし。

### その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

全部合わせると20万から25万円くらいだと思います。

10万円ほど

服に3万

15万

タスマニアの飛行機代4万円のみでした。

15万

## 5. 学習面について

### 語学力・コミュニケーション能力の自己分析

初日はひと言も聞き取れませんが、外国人がたくさんいるパーティやホストファミリーとの会話で、リスニングはとても上達しました。しかし、スピーキングは少ししか上達しませんでした。

留学前に比べるとリスニングは確実にできるようになっていて、コミュニケーションの部分でもペラペラではないですがすぐに英語が出てくるようになりました。

英語でのコミュニケーション能力は上がったと思う。

留学で向上した。簡単な英語を使って文を構成することができるようになった。

語学力はもちろんコミュニケーション能力が上がったと思います。ホストファミリーと話す時は伝わらなくてもいいからとりあえず会話をしていたらだんだん伝わってきて相手の言いたいこともわかるようになってきました。

語学力は向上した、コミュニケーション能力はもう少し頑張りがかったが向上はしている。

### 留学前の目標とその達成度

ペラペラになることが目標ではありましたが、それはできなかったのが60%ぐらいです。

正直、あまり達成できていない感じはある。日本人がほとんどで、日本語を話してしまう機会が多かった。ホストファミリーとはたくさんコミュニケーションをとっていたので、日本にいた時よりは英語力は上がったと思う。

リスニング能力の向上は感じていますが、スピーキングはまだ向上できたと後悔しています。

留学前の目標は8割ほど達成できたと感じています。

出来るだけ英語を話す。現地の英語にたくさん触れる。達成度100%

英語力は正直やや不満ではあるが、自身の世界観がかわり性格が変わった、価値あるものとなった

現地の人たちと仲良くなる。失敗を恐れずに行動する。

リスニング力は目標としていたところまで向上させることができたが、語学力は目標としていたところまでは及ばなかった。全体としては目標の70%は達成できたと感じている。

#### 留学を通しての成長ポイント

留学を通して、自分のことは自分で考えて行動する(当たり前ですが)ということが身についたと思います。またオーストラリアはみんなが自信に溢れていたのも大事だなと思い、自分に自信ができました。

日本にいる間は自分から話しかけにいたりだったり、会話することが得意ではなかったりしましたが、オーストラリアに来たことで積極性が身についたと思います。

英語力は大前提として、ホストファミリーと生活する中で、人と人同士のコミュニケーションの取り方自体を学ぶことができた。とても貴重な経験だった。

外国人に積極的に話しかける力がついたと感じています。

虫が苦手なハエみたいな小さいものでも嫌がって手でブンブン追いかけてたりしたんですけど虫が多すぎて慣れました。日本に帰ってきてからそれを見た友達に成長したねと言われました。あとは向こうの人と私達日本人の間で性格考え方など様々なギャップを感じることもたくさんあったんですけど前述の通り、向こうは何にも思っていない、言わないと伝わらない、ということが学べました。

コミュニケーション能力、積極性、自己主張ができるようになった

英語力だけでなく、人として成長できたと思います。人に頼る前に自分でなんとかする。など海外留学を通じて成長できたことがたくさんありました。

とにかく話してみようという精神が身についた。語学はもちろん一眼は精神力とコミュニケーション能力は英語では言語という高い壁があったので難しかったですが、日本では自分が想像していたよりも人のコミュニケーションがうまくとれるようになっていました。

#### 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は英語を話せるようになりたいとだけ思っていて、留学中も変わらずそれを思っていました。日本に帰ってきてより英語を使ったり、英語を使って仕事をしたいと思うようになりました。

今回の留学だけでは足りないと思い、留学中に次の留学準備をし始めた。自分の新たな目標ができた。

毎日にモチベーションは高まっていきました。

他大学の人はとても英語を話すのが上手くて私も頑張らなくてという気持ちになりました。

語学に関しての学習意欲は増している。せっかくの機会を無駄にしたくないという気持ちと、海外へのあこがれがさらに大きなものになっていると感じている。

#### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

授業内で大学の学生にインタビューをしに行く時に力を振り絞りました。

プレゼンテーション

質問など自分の英語能力の向上に関わる瞬間

現地の友達作り

授業で行われたプレゼンテーションではジェスチャーなどをして、自分の全力を出し切りました。

即興で演技をしなくてはいけないうきにいかにもみんなに分かりやすく、簡単に伝えるかということを考えながらえいごをはなしたとき。

#### 留学先大学の良かった点

先生たちが明るく、陽気で楽しい雰囲気だった。イベントや遠足をたくさん企画してくれて、毎日楽しかった。

ウーロンゴンには設備が整っていて、勉強しやすいところだったと思います。

後半のクラスでは、先生がスピーキング力とリスニング力を伸ばそうと音楽を歌ったりディスカッションをしたりしました。日本ではこのような授業があまりないので、新鮮で私が身につけたいスピーキング力も身に付いたのでよかったです。

自然豊か

野生の鳥がたくさんいる、とても広くたくさんの学生とコミュニケーションが取れたところ

先生がとにかく優しくくださってとてもありがたかったです。

先生が気さくでとてもやさしくて、ウーロンゴンの素晴らしいところに沢山連れて行ってくれたところ。敷地がとても広くて、沢山の国々の人たちがいるところ。自然豊かで癒されるところ。

立地